

青葉区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

鶴見川水系河川：鶴見川、早淵川、恩田川、黒須田川、奈良川、布川

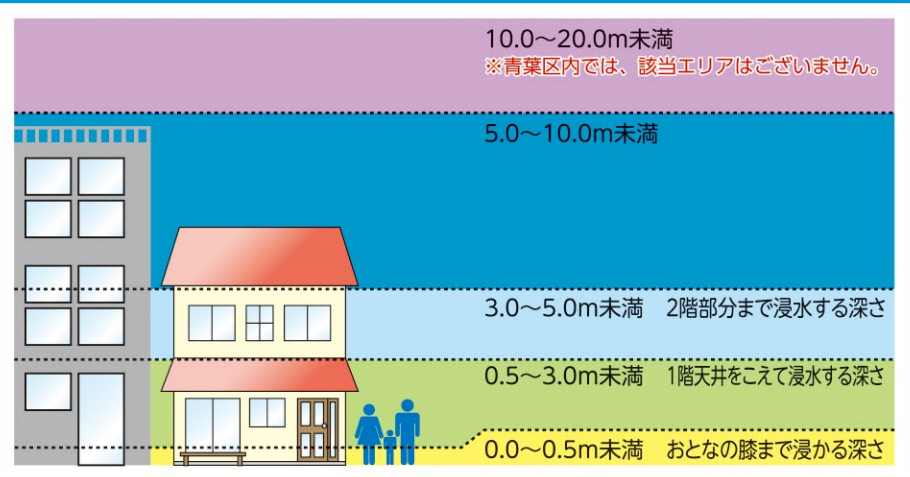
この洪水ハザードマップは、鶴見川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



凡 例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



◎避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域
	アンダーパス
	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域

一般河川(国土交通省管理区域)	河川法適用河川(横浜市管理)
一般河川(神奈川県管理指定区域)	その他の河川(横浜市管理)
一般河川(横浜市管理区域)	

都県界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	避難場所
J・R線・駅	雨量観測所
私鉄線・駅	水位観測所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ

風水害時における避難場所について

◇風水害時において、12か所を候補として避難場所を開設します。

条件等	No.	避難場所	住所	位置	No.	避難場所	住所	位置
風水害時に開設される避難場所(候補)	1	奈良の丘小学校	奈良二丁目29-1	D-5	2	谷本小学校	藤が丘1-55-10	H-6
	2	田奈小学校	田奈町51-13	E-6	3	黒須田小学校	黒須田34-1	H-3
	3	鶴志田緑小学校	鶴志田町532	F-4	4	市ケ尾小学校	市ケ尾町1632-1	H-4
	4	桂台コミュニティハウス	桂台1-4 桂小学校内	F-5	5	東市ケ尾小学校	市ケ尾町519	I-6
	5	さつきが丘小学校	さつきが丘8	G-7	6	山内地区センター	あざみ野2-3-2	I-3
	6	みたけ台中学校	みたけ台30	G-4	7	山内小学校	新石川1-20-1	I-3

◇災害の規模や状況に応じ、上記以外の指定緊急避難場所(注1)や公共施設、自治会館等も避難場所として開設場合があります。
◇すべての避難場所を開設するわけではありません。避難する際は、市・区のホームページ等で開設されている避難場所を確認してください。
◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。
(注1) 指定緊急避難場所：切迫した災害の危険から逃れるための一時的な避難場所です。
横浜市ではすべての地域防災拠点に指定しています。

洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域※1の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で792mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。※2

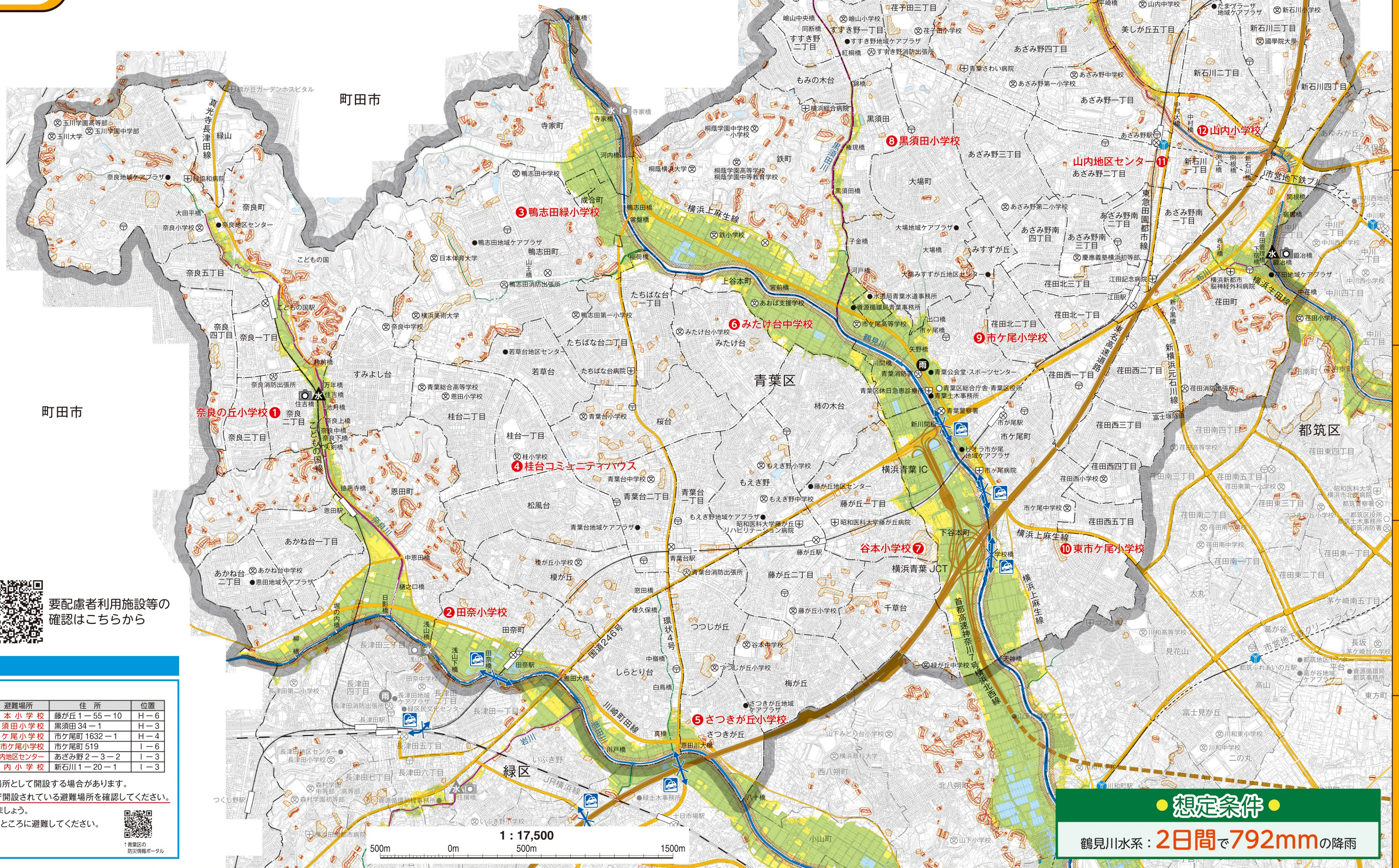
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

- ※1 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所ホームページ
(https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)
※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



●想定条件●

鶴見川水系：2日間で792mmの降雨